

秩父 市議会だより

第20号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



《高篠保育所》「みんなで食べるとおいしいね！」

僕たち、私たち給食大好き。お箸も上手に使えるよ。
もりもり食べて元気いっぱい！ニコニコ笑顔が、
あふれます。

今日もみんなそろって、「いただきまーす！」
愛情いっぱいの給食に心も体也大満足！

3月 定例会

平成22年度予算が決まる（総額461億2,339万5千円）・・・ 原案可決

19項目のちちぶ定住自立圏形成協定が追加締結される・・・ 原案可決

秩父市バイシクルモトクロス場の指定管理者の指定 原案可決



秩父市バイシクルモトクロス場

秩父市議会3月定例会は、2月26日から3月17日までの20日間を会期として開かれました。

この3月議会では、市政全般に対する一般質問に21名の議員が登壇し、市政発展のための活発な論議が展開されました。

審議した議案は、初日（26日）に市長から提出された38件、最終日（17日）に追加議案として4件、議員から提出された7件の議案、合計49件の議案です。上程された議案は、原案可決及び同意されました。

他に請願1件が審議され、採択されました。

3月定例会会期日程

	2月	26日	○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定
			○諸報告 ○施政方針
			○市長提出議案の報告
			○議案第1号から議案38号まで一括上程、説明
	27日		○休会（土曜日）
3月	28日		○休会（日曜日）
	1日		○休会（議案調査・一般質問ヒアリング）
	2日		○休会（議案調査・一般質問ヒアリング）
	3日		○議案に対する質疑
	4日		○議案に対する質疑
	5日		○議案の委員会付託
			○請願・陳情付託
	6日		○市政に対する一般質問
	7日		○休会（土曜日）
	8日		○休会（日曜日）
	9日		○市政に対する一般質問
	10日		○市政に対する一般質問
	11日		○休会（議案調査）
	12日		○委員会
	13日		○休会（土曜日）
	14日		○休会（日曜日）
	15日		○委員会
	16日		○休会（事務整理）
	17日		○委員長報告
			○委員長報告に対する質疑
			○討論 ○採決 ○閉会

1月	8日	議会だより編集委員会
	18日	議員クラブ連絡会
		各派代表者会議
	20日	議会だより編集委員会
2月		三重県鳥羽市視察来訪
8日		長野県塩尻市視察来訪
15日		各派代表者会議
		議員クラブ連絡会
19日		各派代表者会議
		議会運営委員会
24日		大韓民国江陵市視察来訪
26日		定例会開会
3月		
3日		各派代表者会議
		議会運営委員会
10日		各派代表者会議
17日		各派代表者会議
		議会運営委員会
		定例会閉会
29日		議会だより編集委員会



3月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件 名	結 果	会 派 の 態 度					
			市 民 ク	自 民 ク	共 産	公 明	新 社 会	無 会 派
第 1 号	市道の廃止について 原谷41号線、尾田蒔地区内の3路線、荒川上田野136号線の廃止	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 2 号	市道の認定について 尾田蒔6路線、大田582号線、吉田3路線、荒川上田野144号線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 3 号	市道の路線変更について 尾田蒔363号線、吉田3路線の路線変更	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 4 号	指定管理者の指定について（秩父市バイシクルモトクロス場） （株）源流郷おおたきを指定管理者に指定するため	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 5 号	横瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（9項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 6 号	皆野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（11項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 7 号	長瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（12項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 8 号	小鹿野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更について 協定項目の追加（9項目）	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 9 号	地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例 定住自立圏形成協定を廃止する場合についても議決事件とする改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 10 号	秩父市行政組織条例の一部を改正する条例 行政組織の見直しにより事務事業の効率的執行を図るための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 11 号	秩父市やすらぎの丘条例の一部を改正する条例 やすらぎの丘を聖地公園に名称変更を行う改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 12 号	秩父市職員定数条例の一部を改正する条例 農地法改正による農業委員会が行う事業の拡充に伴う職員定数の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 13 号	秩父市一般職員の給与に関する条例及び秩父市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 人事院勧告に基づく一般職職員の時間外勤務手当の支給割合等の改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 14 号	秩父市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例 別所・巴川地区を供用開始することによる改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 15 号	秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例 建築確認申請の審査手数料及び完了検査手数料の改正	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 16 号	秩父市道路占用料徴収条例及び秩父市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例 占用料の引下げ及び徴収対象の追加を行うための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 17 号	秩父市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 救急医療業務に従事する医師の処遇改善のための改正	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 18 号	秩父市のびのび子育て支援金支給条例及び秩父市出産褒賞金贈呈条例を廃止する条例 こども手当の創設に伴い、同様の趣旨である制度を廃止する	原案可決	13/14	○	×	○	○	○
第 19 号	秩父市健康づくり推進協議会条例 市民の健康づくりを総合的に推進するため協議会を設置する	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 20 号	平成21年度秩父市一般会計補正予算（第4回） 地域活性化臨時交付金事業及び歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 21 号	平成21年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算（第3回） 医療費の見込額の変更等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 22 号	平成21年度秩父市老人保健特別会計補正予算（第2回） 医療費の見込額の変更等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 23 号	平成21年度秩父市介護保険特別会計補正予算（第3回） 基金利息の確定による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 24 号	平成21年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第3回） 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 25 号	平成21年度秩父市水道事業会計補正予算（第3回） 消費税額の補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 26 号	平成21年度秩父市立病院事業会計補正予算（第4回） 歳入歳出の確定等による補正措置	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 27 号	平成22年度秩父市一般会計予算	原案可決	○	○	×	○	×	○
第 28 号	平成22年度秩父市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 29 号	平成22年度秩父市老人保健特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 30 号	平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 31 号	平成22年度秩父市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	×	○	○	○
第 32 号	平成22年度秩父市下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 33 号	平成22年度秩父市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 34 号	平成22年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○
第 35 号	平成22年度秩父市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○

3月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件 名	結 果
第 36 号	平成22年度秩父市駐車場事業特別会計予算	原案可決
第 37 号	平成22年度秩父市水道事業会計予算	原案可決
第 38 号	平成22年度秩父市立病院事業会計予算	原案可決
第 39 号	工事請負契約の締結について 秩父市立秩父第二中学校A棟大規模改修工事の請負契約の締結	原案可決
第 40 号	秩父市副市長の選任について	同 意
第 41 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
第 42 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意
議請第23号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採 択
議員提出 第 61 号	秩父・太平洋セメントの生産中止に反対する決議	原案可決
議員提出 第 62 号	子ども手当の全額国庫負担を求める意見書	原案可決
議員提出 第 63 号	政治資金規正法の制裁強化を求める意見書	原案可決
議員提出 第 64 号	子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書	原案可決
議員提出 第 65 号	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の核不拡散条約（NPT）再検討会議での採 択に向けた取組みを求める意見書	原案可決
議員提出 第 66 号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	原案可決
議員提出 第 67 号	秩父市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決

会 派 の 態 度					
市 民 ク	自 民 ク	共 産 党	公 明 党	新 社 会 党	無 会 派
○	○	○	○	○	○
○	○	×	○	○	1/2
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○

市民ク (市民クラブ 14名)
 自民ク (自由民政クラブ 5名)
 共産党 (日本共産党秩父市議団 4名)
 公明党 (公 明 党 2名)
 新社会 (新社会党秩父市議団 2名)
 無会派 (会派に属さない議員 2名)

※議長は会派人数に含まれていない。

○ 賛成
 □ 賛否
 ※賛成人数 / 会派人数
 × 反対

請願・陳情はこんな方法で・・・

請願を市議会へ提出する場合は、次の様式で作成し、議会事務局へ提出して下さい。

- ①請願・陳情の件名
(「○○に関する請願」または「○○に関する陳情」)
- ②要旨・理由
(内容は簡単明瞭に)

- ③請願・陳情者の住所、氏名及び押印 (多人数で請願・陳情する場合は、必ず代表者を決めてください。)
- ④請願は1人以上の議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。陳情も様式は請願と同じですが、紹介議員は必要ありません。
- ⑤請願・陳情の提出はいつでも受け

付けますが、当該定例市議会にかかるものは、事務処理の都合上、定例市議会の招集初日の正午までに提出をお願いします。
 ⑥請願・陳情の様式は、A4判縦、横書きでお願いします。
 ⑦詳しくは議会事務局へお問い合わせください。
 (下記は請願書様式です。)

○○に関する請願者名簿

住 所	氏 名	印

請願者が多人数の場合

○○に関する請願

趣旨
 ○○○○ ……
 説明
 ○○○○○○○○○
 ○○○○ ……
 上請願します。

平成○年○月○日
 請願者 (代表者) 住所
 氏 名 ㊤

秩父市議会
 議長 ○○○○様

(文例)

請 願 書

紹介議員
 氏 名 ㊤
 (署名または記名押印)

表紙

● 決議・意見書 ●

3月定例会の最終日の本議会において、議員提出議案の決議1件、意見書5件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については次のとおりです。

秩父・太平洋セメントの生産中止に反対する決議

秩父市議会は、太平洋セメントに対し、次の事項について強く要請する。

- 1 従業員・関連会社への影響を考慮し、規模を縮小しても生産を継続すること。
- 2 新規事業を早急に検討すること。
- 3 武甲山採掘残壁の緑化・修復に努めること。

子ども手当の全額国庫負担を求める意見書

2011年度以降の子ども手当の本格的な制度設計においては、政府が当初明言していた通り、全額国庫負担とし、新しい制度としてスタートすることを強く求めるものであります。

政治資金規正法の制裁強化を求める意見書

政府におかれては、より一層の制裁強化を図るため、秘書などの会計責任者が違法行為を犯した場合に、監督責任のある国会議員の公民権（選挙権や被選挙権）を停止する政治資金規正法改正案の今国会での成立を強く要望する。

子宮頸がん予防ワクチンに関する意見書

政府におかれては、子宮頸がん予防・早期発見のための取組みを推進するため、次の項目について早急に実現するよう強く要望いたします。

- 1 日本においても国内産の予防ワクチンの開発・製造を早期に進めること。
- 2 女性の一生においてHPV感染の可能性が高いこと、また、予防可能ながんであることをかんがみ、接種の推進を図るために、接種への助成を行うこと。

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」の核不拡散条約（NPT）再検討会議での採択に向けた取組みを求める意見書

国会及び政府におかれては、「ヒ

ロシマ・ナガサキ議定書」の趣旨に賛同し、2010年の核不拡散条約再検討会議において同議定書を議題として提案していただくとともに、その採択に向け、核保有国を始めとする各国政府に働き掛けていただくよう強く要請します。

義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書

国及び政府においては、義務教育費国庫負担金の全額税源移譲と制度の廃止を検討するのではなく、義務教育費国庫負担制度の維持・拡充をはかり、負担率2分の1に復活させるため、格別の努力をされるよう、意見書をもつて強く要望いたします。

● 人事案件 ●

秩父市副市長の選任および任期満了に伴う人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市副市長

横井 隆 幸（金室町）

人権擁護委員候補者

篠崎 弘 藏（別所）

内藤 憲十郎（大滝）

請願

3月定例会に提出された請願は1件です。この請願は文教福祉委員会に付託され、慎重審査の結果、次のとおり決定しました。

請願の内容

付託委員会	請願名	結果
文教福祉委員会	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願	採択

●市議会を傍聴してみませんか● 6月定例会について（お知らせ）

平成22年6月定例会の日程については、4月18日に行われた「秩父市議会議員選挙」において、当選された新しい市議会議員が内定することになり、現時点では未定です。5月下旬には6月定例会の日程が内定する予定です。

各常任委員会の報告

総務委員会

- ◆横瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更にについて
 - ◆皆野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更にについて
 - ◆長瀬町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更にについて
 - ◆小鹿野町とのちちぶ定住自立圏形成協定書の変更にについて
 - ◆地方自治法第96条第2項の規定による議会の議決すべき事件に関する条例の一部を改正する条例
 - ◆秩父市行政組織条例の一部を改正する条例
- 問** 組織上、農業と林業は同一なものとして考え、産業として捉えることが適当ではないのか。
- 答** 内部でも協議検討を重ね、今後は森林環境税も考慮の上、林業振興を環境部と位置づけた。
- 問** 林業関係を環境に組み入れたことで、その展望と市民の不安に對してどのような考えか。また、組織上、県農林部や秩父農林振興センター等との「づれ」についてどのように考えているか。
- 答** 部局の編成は9月ごろから原課と協議調整を行う中で、農と林を分けた。今後は、森づくり課及び農政課ともしっかり協議し、住民の方々に迷惑にならないようにしていきたい。

◆秩父市職員定数条例の一部を改

正する条例

◆秩父市一般職職員の給与に関する条例及び秩父市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)

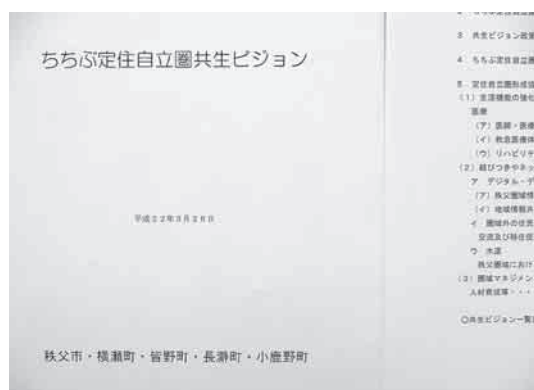
○以上9件は、原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)

問 人権啓発活動委託金について説明してほしい。

答 熊谷秩父人権啓発活動地域ネットワーク協議会で、市内小学校14校にチューリップの球根配布。※人権推進事業費がいまだにあることと、森のキャンパスアドベンチャーコースの歳出に見合う歳入がないため反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決



ちちぶ定住自立圏共生ビジョン

建設委員会

◆市道の廃止について

◆市道の認定について

◆市道の路線変更について

○以上3件は、原案のとおり可決

◆秩父市手数料徴収条例の一部を改正する条例

※事務量の増大を理由により、審査手数料を引き上げるということは、建築主に負担をしわ寄せすることにはかならず、納得できない。

また、住宅の着工戸数の増加促進などの経済対策の上からも、マイナスの要因にしなければならない。これらの理由から容認できない、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆秩父市道路占用料徴収条例及び秩父市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)

◆平成21年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第3回)

◆平成21年度秩父市水道事業会計補正予算(第3回)

◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)

問 除雪作業委託料を1,105万4千円計上されているが、先日の降雪時に対応の遅れた地区がみられたがこの予算で十分か。

答 除雪作業について53社に委託

し、延長距離216.6km、351路線を委託、除雪は国道、県道、市道の順で作業を行っている。

◆平成22年度秩父市下水道事業特別会計予算

◆平成22年度秩父市駐車場事業特別会計予算

○以上7件は、原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市水道事業会計予算

問 石綿管布設替え工事の進捗状況は。

答 平成22年度の計画終了後では秩父市全体の56.1%完了予定。敷設替え工事は平成32年度にはすべて終了する予定。

問 段階的に水道料が値上げになるが、値上げに見合った予算措置が取られているか。

答 値上げではなく合併時の協約により調整している。各地区に濁度計の設置、吉田地区では漏水が多く昨年度から配水管の敷設替えを行っている。

※吉田・荒川・大滝地域の住民は水道料金に対する負担が大きくなる状況があり、それにも関わらず、水道水の濁りに対する十分な対策が予算上講じられていないとは到底思えないので反対する、との意見が出された。

○挙手多数により可決

各常任委員会の報告

生活産業委員会

◆指定管理者の指定について(秩父市バイシクルモトクロス場)

◆秩父市やすらぎの丘条例の一部を改正する条例

◆秩父市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)

問 緑の分権改革推進事業の具体的な内容は。

答 国から100%の補助を受ける事業で、地域のクリーンエネルギーの賦存量の調査と事業展開のための実証調査を行うという内容である。具体的には利用間伐事業と林地残材搬出、チップや薪を作り消費する側へ供給することについての検討事業のほか、ペレットストーブや薪ストーブを公共施設等に設置し市民の意見を聞きながら消費側の需要開拓につなげるための実証試験を行う予定である。

◆平成22年度秩父市一般会計予算(所管費目)

問 空き店舗対策事業補助金と商店街活性化推進事業補助金の内容。

答 空き店舗対策事業補助金は、14年度からの事業で全部で46件の補助を行った。13年度当時の旧秩父市内の中心市街地活性化のエリアの地区で空き店舗を改装するという条件の方に補助金を交付し、

文教福祉委員会

◆秩父市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

○原案のとおり可決

◆秩父市のびのび子育て支援金支給条例及び秩父市出産褒賞金贈呈条例を廃止する条例

※出産褒賞金は子ども手当と性格が違うので、廃止することに反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆秩父市健康づくり推進協議会条例

問 条例化の理由は。

答 合併時に要綱により定めたが、今後は明確化し、市の附属機関に。

○原案のとおり可決

◆平成21年度秩父市一般会計補正予算(第4回)(所管費目)

※安心してできる施策を裏付ける予算になつていないので反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成21年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成21年度秩父市老人保健特別会計補正予算(第2回)

◆平成21年度秩父市介護保険特別会計補正予算(第3回)

◆平成21年度秩父市立病院事業会計補正予算(第4回)

帯子育て支援事業の詳細は。

答 子ども手当給付事業は約11億7千万円で、市の負担額は約1億2千万円であり、対象者の中学生までは約9千人である。6月から月額1万3千円給付する。多子世帯子育て支援事業の支給要件は、給食費の滞納のないことで、年2回に分けて口座振込みで支給する。

○以上5件は、原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市国民健康保険特別会計予算

※窮屈な国保財政を放置すべきでないので反対との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市老人保健特別会計予算

○原案のとおり可決

◆平成22年度秩父市後期高齢者医療特別会計予算

※制度そのものに反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市介護保険特別会計予算

※制度の改善が進まないもので反対、との意見が出された。

○挙手多数により可決

◆平成22年度秩父市立病院事業会計予算

○原案のとおり可決

〈請願〉

◆義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願

○採択



いっぱんしつもん

子宮頸がんワクチン接種助成を

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 子宮の入り口にできるがんで、原因となるHPV（ヒトパピローマウイルス）は皮膚や粘膜に存在するごくありふれたウイルスで主に性交渉によって感染する。20～30歳代が罹患率・死亡率共に増加傾向。ほとんどの女性が生涯のうちには一度は感染すると言われるが、検診により唯一予防が可能なのである。ワクチン接種は性交渉前の女子中学生が適している。初期に発見できれば多くの場合子宮を温存も可能。進行すると子宮全体の摘出などの手術や放射線や薬を使った治療も必要で妊娠や出産に影響を及ぼす。他の先進国と比較して日本は検診の受診率は著しく低い。理由は3回の接種が必要で20年間有効であるが、一人当たり5万～6万円位と言われ負担感が強く、検診の認知度も低いのが実態。志木市では全額助成を決定。兵庫県明石市でも小学6年～中学3年生に全額助成決定。秩父市でも中学生に助成をして欲しい。中学1年入学時に1回、2回目を1か月後、3回目を6か月後に接種、あるいは6年生から始める考え方もある。いずれにしても、医師会

の方々に協力をお願いし、周知対策とより良い方法で予防ワクチン接種の推進を図る事を提案する。検診の受診率向上の対策とワクチン接種についての考えは。

答 今年度国が決めた当該年齢の方に無料クーポン券を送り受診率向上を目指し、接種は国・県の動向、効果の検証を踏まえ、医師会とも協議を重ね総合的に検討していく。



すすんで検診を受けましょう

◎保育の充実について

公共工事の入札制度改革の提案

自由民政クラブ 新井豪

問 昨年7月の朝日新聞で「秩父市発注工事の予定価格が漏れた疑い」との報道があった。「予定価格の80%」が入札の失格ラインとなるため、その価格を算定し管理する職員は極めて重要な機密を保持する事になる。今後、公正な入札が行なわれるために、重大な不正を防ぐために、何より職員の名誉を守るためにも、失格ラインのパーセントを変動させる「変動型最低制限価格制度」を導入すべきでは。

答 記事のように予定価格が漏れたとは思ってないが、公平公正な入札制度にするため、平成22年度からは提案の通り、国交省が算出基準を定めた設計金額の内訳から算出する変動型最低制限価格制度を導入したい。

●本町・中町中央通線について

問 進捗状況は。

答 用地取得率は全体の21.64%である。

問 民主党政権の影響で、地方の公共工事が大幅に削減され、この事業が止まってしまうとの噂が

あるが、展望は。

答 埼玉県の土木費が20%減という中で、この中央通り事業予算も21年度と比べ減額はされているものの、この事業については継続・推進する方向性が示され、予算も増額されるとの情報も入っている事から、今まで通り地権者との交渉を続けていく。



昨年7月の朝日新聞の報道

◎逮捕者を出した「成人式」の来年の対策について

いっぱんしつもん

高齢者への支援について

日本共産党秩父市議団 新井 康一

問 市内の高齢者の現状はどうなっているか。

答 高齢化率は26.5%、単身高齢者は3千674人、高齢者2人世帯は3千650世帯である。

問 合併前の高齢者に対するきめ細かなサービスが廃止され、合併の弊害が特に社会的弱者に集中しているとも言える。

高齢者になると用がなければだんだん外出しなくなり、人との交流が少なくなってくる。以前のようなサロン事業ということではなくても、気軽に近所で集まれる場所に若干の補助が出て、安心して過ごすことができるシステムができたらいのという声もある。どのような支援が考えられるか。

答 合併前の旧町村部で行なわれていた事業で、縮小・廃止したのもある。今後、気軽に参加できる高齢者サロンと介護予防を一体的に取り組めるような事業が必要であり、ボランティアの要請にも取り組んで生きたい。

●秩父太平洋セメントの生産中止

問 秩父太平洋セメントが普通セ

メントの生産中止を発表したという事が、24日にいっせいに各新聞に報道された。市への貢献は薄れ、自然破壊だけが横行することにはならないか。関連会社も含めた雇用への影響、市税など財政面も含めた市への影響はどのようなことが考えられるか。今後どのような対応をするのか。

答 直ちに臨時の記者会見で市長コメントを発表した。今後の事業縮小は容認できるものではない。全庁的にプロジェクトチームを設置して対応を検討する。



生産中止が発表された秩父太平洋セメント

◎観光地としての秩父

「教育」について

市民クラブ 落合 芳樹

問 学力テストの状況と今後は。

答 今までは全校が対象で、当市は全国平均をやや下回るが差は縮まっている。今年から抽出方式となり、対象校以外も希望参加する。

問 土曜授業の実施はどうか。

答 東京都は月2回実施する予定。今後、学力向上の取り組みとして研究をしていきたい。

問 道徳教育の現状と今後は。

答 年間35時間行っているが、今後は県の教材を活用して指導していく。

問 幼児教育の保育料等は。

答 市立幼稚園の料金は県内で最も低額である。効率的で公正な運営を図るため、私立幼稚園と今後話し合いをもちたい。

●「福祉と医療」について

問 病後児保育の実施は。

答 「ちちぶ定住自立圏」で事業実施に向けて検討を進めたい。

問 小児医療と少子化対策の関係。

答 小児医療の充実が少子化対策の一助になるが、適性受診の啓発にも取り組むたい。

問 救急医療の今後は。

答 4月から休日・夜間の救急医

療体制は、小鹿野町立病院が医師不足のため一時撤退し3病院になるが、「ちちぶ定住自立圏」を活用し、県や医師会などとの連携を推進して対処したい。

問 市立病院の医師の確保は。

答 4月から新たに2人の医師を招き18人体制となる。



吉田幼稚園

◎秩父市の財政状況

いっぱんしゅもん

環境農林政策について

市民クラブ 高野 幸雄

問 環境立市の内容について。

答 秩父の森林は水と酸素を生む宝の山、そして農村風景は秩父人の誇りである。市長は施政方針に環境立市を掲げているが、具体的な取り組みは。

答 環境都市づくりを推進、太陽光発電システムをちちぶキッズパーク、小中学校5校に設置、新築住宅にも対象を拡大、秩父産木材の公共事業への活用を考える。

問 農商工業と連携し、吉田特産物推進協議会、龍勢の町よしだ、お菓子な郷推進協議会と連携し、農産物利用のお菓子、焼酎等、新たなブランドづくりに取り組んでいる。さらなる支援を。

答 市としても、営農組合が加入する吉田地域特産協議会への支援と共に、地域特産品を活用した地域特産品開発を支援する。

問 遊休農地利用のソーラー発電、売電事業について。ソーラー発電は稲作の1町歩で100万円、ソーラー売電4千万円の試算、とのこと。

答 農地法の問題もあり、農地としての活用を優先したい。

● 行政運営について

問 総合支所の権限の強化とは。

答 人事権、組織の総合調整権付与、予算3百万円、不足は材料支給にとどめ、地域の協力で補修を。

問 市長の団体行事で挨拶だけでは退席について、団体役員、市民から残念との声があるが。

答 市長マニフェスト、交際費50%カット(予算280万。前年度使用額150万円に対し50%、75万円)により、バランスを取るよう努力している。



吉田総合支所

市の将来を展望して

市民クラブ 井上 十三男

問 少子高齢化が進み大手企業の生産中止、本社移転のうわさ等非常にきびしい財政面の予想、特に10年後の人口予想は、ちちぶ定住自立圏共生ビジョンの資料によると、現在6万9千7百人の市の人口が、5万8千9百人になると予想されているが、将来を展望しどのような方針で市長はリーダーシップをとっていくのか大綱をうかがいたい。

答 経済的に豊かな人間性、文化性、すべて豊かな環境文化都市ちちぶを基本理念とし、医療・福祉の充実、地域の経済の活性化を図っていく。

市の行政は現場主義に徹し、市の職員が変わらなければいけない。企業誘致を実施し山林労働者の新たな雇用機会の創出、製造業の若い人達の職場づくり、イノベーションに注目し生活の技術革新へ取り組んでいきたい。

全般的に緻密な計画をたて、全国にほこれる街づくりをしていきたい。



市長答弁の様子

いっぱんしゅもん

神領民家屋根葺き替え工事に関する
裁判結果について

市民クラブ 荒船 功

問 神領民家屋根葺き替え工事に関する裁判が開始されたのが、平成19年7月で、判決が出るのに約2年の歳月がかかった。上告した今回の裁判は約半年2回の口頭弁論で結審。1審判決に続いて秩父市が勝訴した。原告側は上告しているがその後の状況は。この裁判で市の支出は。

答 控訴審のその後については、東京高等裁判所において昨年10月から開始され、1月21日に判決が出され秩父市の勝訴となった。その後、原告側は控訴審判決を不服として、1月29日付けで「上告受理の申立て」東京高等裁判所に提出しており、申立ての理由書を50日以内に提出することになっている。

「上告受理の申立て」を受けた最高裁判所では、今回の控訴審判決に関して、その内容に判例違反や法令解釈に関する重大な事項が含まれるかどうか判断し、上告審が始まることになる。いずれにしても、結論は4月以降になる。

裁判費用は、弁護士委託料は平成19年に1審の着手金80万円、昨年に2審の着手金50万5千円、合



大滝の神領民家

せて132万5千円支払っている。今後の支払については、上告審の状況が不確定であるが、1審、2審の成功報酬160万円プラス消費税を基準に協議していくことで契約を締結している。

学校教育の運営方針について

市民クラブ 江田 治雄

問 スクールガードや見守り隊の現状・またその方々を学校行事に招待できないか。

答 現在学校単位でお願いしている。小学校677人・中学校435人で、保護者や老人会の皆さん、自治会の方に登下校や通学路の安全パトロールで協力して頂いている。卒業式や入学式に招待できないか、学校長会で相談し実現できるように検討する。

市内公共交通について

問 西武バスの常盤橋・久那小線を荒川花見の里まで延伸して頂いたが、更に上久那地区へも運行できないか。

答 花見の里まで伸ばした事により、利便性が良くなり、利用客の増加が期待できる。上久那地区は、地域性から難しい問題があるが、強い要望があるのでバス以外の交通手段として、デマンド型の乗り合いタクシー方式等で、地元の見聞を聞いて前向きに検討する。

商工団体への今後の対応

問 商工会議所と統合できない荒川商工会・吉田地域商工研究会へ

の市の対応は。

答 荒川地区・吉田地区共に諸事情の理由により、統合できないでいる。市として、二重行政になるが、加入している会員が困る事がないように、支援していく。



花見の里のバス停

- ◎観光振興について
- ◎教育行政について
- ◎有害鳥獣対策(シリーズ)
- ◎スポーツを通じての誘客

いっぱんしゅもん

武甲山修景、環境部新設、環境整備

自由民政クラブ 今井 武蔵

問 武甲山の修景、秩父の家郷景観の再生の集約として

(1)「巡りと再生」秩父縄文研究所長の「武甲山再生」の提案8項。

(2)「チチブ武甲さん」絵本の活用。

(3)秩父まるごと博物館の武甲再生。

(4)武甲山再生の秩父市の取組施策。

(5)秩父太平洋セメント秩父工場の生産中止と、秩父市の緊急対策並びに武甲山採掘と修景の施策。

答 (1)武甲山再生の提案は、日本の百名山を生かす緑化、設計等山中隆太郎会長提言は住民の英知を集結。

(2)武甲さんの絵本、子供達の学習。

(3)博物館中心に武甲山緑化等調査。

(4)市長の公約により再生組織取組。

(5)セメント生産中止は、環境、財政、雇用等承服できず、3月18日に本社に要望。

環境立市秩父構想まちづくり

問 秩父環境団体連絡協新春の集いで、市長の環境施策の具体策。

答 市は市民目線により現場重点の行政推進。環境立市秩父の実現に向けて「環境部」を4月に設置。

特命的な使命を帯びる新組織立上げ。秩父林業、バイオマス、花づくり、太陽光発電、農業後継対策、武甲山の再生等、環境総合施策。

環境整備の各地域の取組

問 (1)吉田、城峰山頂公園整備。

(2)大滝、中津川流域、大血川流域の森林セラピー等の取組方。

(3)荒川商工会「美しい森」の成果。

答 各項、地域整備と併せ施策を推進。



奥武蔵高原丸山山頂より武甲山の全容

- ◎秩父まるごとジオパーク推進協
- ◎大滝中学校の大滝貢献成果発表
- ◎秩父札所巡礼別所道協廃品対処

100年の森を見据えた里山再生について

市民クラブ 笠原 宏平

問 近年、休日になると、ハイカー

が秩父の里山を散策する姿を見かけ、各地で進められている100年の森づくり活動に、私も身近な裏山に山桜やツツジなど広葉樹を植林し、四季折々に美しい山を眺めたり、子どもも大人も山で遊べたり、害獣も山奥に返したりと、里山本来の循環型社会にしたいと考えた。しかし身近な里山は、私有地がほとんどで、100年かかる活動だから、簡単にはいかない当局にご支援・ご協力と共に考えをうかがう。

答 秩父市では、ミューズパークで森づくり事業として、NPOや各種団体でボランティアの参加を集い広葉樹の植栽を行っている。また景観保全や治山治水など含めた植栽事業を考えている。

戸別合併処理浄化槽の管理体制は

問 市内の家庭の多くが合併浄化槽で雑排水を処理している。管理は業者に委託しているが、その状況をうかがう。

答 浄化槽の維持管理については、資格を有する業者委託し、点検・

清掃を行なっている。また他の業者が、水質検査を行い浄化槽の機能が発揮されているか確認している。万一、維持管理が適性でない事が発見された場合には、早急に改善するよう努めている。また、浄化槽設置整備事業が統一され、2年を経過するに当たり、昨年12月に使用者を対象にアンケートを実施し今後の管理運営の参考にする。



秩父市営馬場

◎市営馬場の進捗状況は

いっばんしつもん

産業観光政策について

自由民権クラブ 金田 安生

問 どこを絞って秩父を活性化しようとしているのか。地域雇用の拡大を図るために、企業育成や誘致が今もっとも力を入れなければならぬ施策と思うが。

答 労働人口で最も就労人口が多い産業は鉱工業であり、次は観光産業関係である。現在、地域の特産品を開発するなど観光関連に力を入れている。また、商工業関係についても会社訪問を行い状況把握するなどしているが、関係者の協力を得て、更に努力したい。

●公共施設の建設と管理について

問 この4年間に100億円を超える公共施設への投資。今の考えで行くと40年後頃には建替え需要が発生する。人口減・税収減が予想される40年後の市にとって、大変な事態になることが予想される。保守点検に力を注ぎ、施設の長寿命化を可能とする組織体制を今から考えるべき、と思うが。また、現在リフォームが必要と思われる施設数はどの位あるのか。例えば女性会館も対象と思うが。

答 市の管理施設は女性会館を含

め約850か所あるが、全体の状況は把握できていない。早急に市内関係者で対策を相談したい。

●情報化基本計画について

問 平成22年末には市内の95%の地区で地デジ・光通信網・携帯不感地域解消となるはず。実情は。

答 地デジ対策は昨年度荒川・大滝地区の対策を実施。栃谷・定峰地区を含め他に100か所程の未対策地区がある。個別に高性能アンテナ化などの対策を実施したい。



リフォームが期待される福祉女性会館

秩父市活性化 人口増加に対する住宅政策

市民クラブ 小櫃 市郎

問 新築優良住宅建築に対する資金貸付制度の創設が秩父市として対応できないか。

答 秩父市では、勤労者向けの住宅資金融資制度として、秩父市産業労働者住宅資金貸付制度がある。秩父市への居住を促進するため、市内に住居を新築する、購入する、増改築する、さらに宅地を購入するための資金を貸し付ける制度である。また埼玉県ではエコ住宅を建設する場合の住宅ローン負担軽減を行う助成制度が行われている。資金貸付制度の創設については、住宅資金の不足を補うものとして、住宅の建築を予定している方に利用されれば効果があると考えられるので、関係部所とも協議、検討していく。

●行政組織 分庁方式について

問 総合支所方式で運営しているが、支所では職員数が減少し、支所の周辺に活気がなくなった。また商店の売り上げが激減している。分庁方式にすることにより各支所の有効活用ができ、活気が取り戻せるのではないか。



埼玉県の住宅ローン

答 総職員数の減少や組織改編に伴って、総合支所管内に発生した空きスペースを、そのままにしておくのは大変もったいない。早急に活用案を検討していかねばならないと思う。今後、新たな雇用や、地域の商店が潤うような活用方法や地域の各種団体の活動拠点として活用する方法など広く研究していく。

いっぱんしゅもん

地元企業育成と雇用対策について

市民クラブ 逸見英昭

問 市及び市が補助金を出している団体が発注する事業を地元以外の企業が受注した場合、下請等についてできる限り地元企業を使うよう条件をつけることは可能か。

答 契約締結時に、市内業者を下請として選定していただけるよう依頼していきたい。

●幼稚園の通園区域と保育料補助について

問 太田の幼児が距離的に最も近い吉田幼稚園に通園できない理由は。

答 秩父市立幼稚園管理規則で定められている事が理由だが、考慮しなければならぬ点もあるので、十分調整・検討する。

問 公立と私立の幼稚園の保育料には大きな格差がある。私立幼稚園の保護者への補助制度は考えられないか。

答 私立幼稚園に対する保育料補助については、来年度中に結論を出したい。

●吉田、秩父間のトンネル構想について

問 吉田、秩父間のトンネルにつ

いて、特例債を活用した事業推進はできないか。

答 多額の事業費が必要なトンネル建設については市単独の事業化は難しい。引き続き県事業として早期実施を要望していく。

●浦山地区の活性化策について

問 ネイチャールランドにアイススケートリンクの設置は考えられないか。

答 当該施設は土砂災害の危険性が予想されることが冬期は路面凍結による通行止めなどがあり難しい。



ネイチャールランド浦山

秩父太平洋セメントの生産中止

新社会党秩父市議団 坂本文雄

問 秩父工場の生産中止は秩父市に大きな痛手である。対策プロジェクトチームで対応する中で、廃棄物を多量に燃やしたエコセメント製造について埼玉県知事や群馬県知事に申し入れを行う考えは。

答 秩父市の状況を見ると一部の公共事業に利用できるエコセメント利用と県内の産廃処分に向けた要請を知事に行う。

●学校給食費の助成は公平を

問 第2子から助成の考え方は。

答 市の財政が厳しく第2子にした。豊かであれば全員にと思う。

問 経済事情等で1人しか子どもが産めない家庭もある。給食費滞納者も増えている。公平性は。

答 多子家庭援助のための施策である。滞納者は学校・教育委員会と無くすよう努力する。

●影森椿森地区埋立は擁壁を

問 現在20m位は埋め立てられているが擁壁が作られていない。擁壁を作り埋め立てるのが通常工事だ。ダンプの進入は右折が行われ



影森の埋立地

●影森産廃処分場の管理は

問 処分場が作られて27年になる。この間様々な事故もあり、秩父市にとっても毎月の調査等多大な経費がかかっている。今後の対応は。

答 産廃処分場の管理については、事業者が行うべきだが倒産等で出来ない場合は、許可権者である埼玉県に管理を求める。

いっばんしつもん

秩父市の雇用政策について

新社会党秩父市議団 金崎 昌之

問 多くの観光客が訪れるという秩父の特性を活かし、今全国各地で活況を呈している農産物直売所を西武秩父駅周辺やミューズパーク等の観光拠点に設置する考えは。

答 農産物直売所の人気は高まっているが、反面で競合も激しくなってきた。農産物直売所の設置に向け、今後も引き続き安定した経営を前提とした研究・検討を重ねていく。

問 今後成長が期待できる太陽電池や環境対応車用電池の製造等、環境に関する工場を誘致する動きが地方自治体の間で活発だと聞く。近年注目をあびている「環境都市・秩父市」をアピールして環境産業の誘致を図る考えは。

答 「環境立市」を強力に推進し、その成果・魅力を秩父市の「強み」として企業誘致を実施したい。

●小柱インター以降の道路整備

問 今秋予定の皆野秩父バイパス小柱インターの供用開始で、県道秩父児玉線等関連道路への車の流入が激しくなることが予想される。交通安全確保のため、早期の道路

整備が求められるが。

答 地元町会からの要望書提出等に基づき、順次整備するよう県に働きかけたい。

●共同調理場の配置・所管について

問 現在の共同調理場は、近くに調理場があるのにわざわざ遠くの調理場から運んでいるなど不合理。所管する学校を見直し再編することで配送時間の短縮を図る考えは。

答 調理場の容量もあり今日明日とはいかないが検討してみたい。



西武秩父駅周辺の様子

秩父地域の産業経済発展のための行政の果たすべき役割

自由民政クラブ 中村 義一

問 行政に期待する市民の声は、秩父地域の産業を活性化し、雇用の確保を図り、若い青年男女が秩父に残り、持続可能な秩父を維持してゆくことを望んでいる。

企業進出がしやすい環境、企業に貢献出来る政策、若者のニーズに応えるための環境づくりが必要と考えるが、行政の果たすべき役割を具体的にどう考えているか。

答 経済施策の推進で地域経済の発展を目指し、介護、医療、農林業で雇用機会の創出を目指し、データ蓄財センターや環境産業を誘致したい。

●市民公開の事業仕分け

問 財政力の弱い秩父市は、人口減少により現役世代が背負う将来負担額は、ますます増大することは必至である。

当局主導の財政改革では甘く、なかなか進まないのので、「仮称」事業仕分け実行委員会を設置し改革をする時期にきていると思う。

答 そこで市民公開の事業仕分けを実施し改革を図るべきだと思うが、市民公開については検討するが、仕分け能力をつけるため研修

中であり、本年、市民公開なしで秩父版事業仕分けを実施したい。

●総額管理枠配分予算

問 この方式を実施することにより、現場に裁量権を与え、職員自ら優先順位を決定することにより、職員の政策形成能力を高めることが期待出来ると思うか。

答 効果あると思うので導入を視野に入れ検討したい。



平成22年度の秩父市の予算書

いっばんしつもん

地域に配慮した行政に

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 市の介護行政について。

答 埼玉県内10の老人福祉圏域に分けられているが、児玉圏域に次ぎ、施設整備がされている。

セメント工場跡地に複合多面的な施設整備については、雇用の拡大、地産地消という点では大変有効な手段であり、跡地の利活用についても、重要な問題と考えている。施設から在宅へ、を柱に在宅サービスの基盤整備に努めたい。

問 市道の認定と救済について。

答 市町村道の認定については、各自自治体の自主性に任ざれており、市道など住民の生活に密着した道路であり、地域の事情に合わせたものであることが望ましい。道路用地の所有関係が複雑な場合もあり、私道の舗装などの整備には市の「私道整備事業補助金交付金要綱」に該当する場合、工事費の一部を補助する制度がある。

問 バス路線、交通網の整備拡充について。

答 大滝地域の公共交通網の再編について、町会理事会に出席し、各区長さんと相談しながら進めている。川又線についてはスクールバス混乗型市営バス方式、デマン

ド型乗合タクシー方式への再編についてアンケートをお願いしている。大血川・三峰地区については診療所バスの増発も検討しており、各地区へ出向き話し合う機会を持ちたい。大滝地域のバス路線について絶対なくさないために住民の声を聞き整備に努めたい。

問 大滝独自の通学助成金について二片の書面だけで説明がない。

答 旧大滝村から実施している通学助成金制度は、合併後5年を経過し見直した。他に市全域の高校生を対象としたバス代補助制度に合わせた。保護者から、継続希望クレーム等なかった。



三峯神社行き路線バス

安心・安全な危機管理対策と道路整備

市民クラブ 高野 勝 盟

問 市の危機管理対策について。

答 危機は全部所に存在し、各部署は所管事務にかかる危機の発生に備え、平常時から、危機管理マニュアルを整備するなど、危機管理体制の充実・強化に努めている。危機発生時には、迅速に総務部への連絡及び市長への報告を行い、関係機関等と連携しながら、応急対策を実施している。

問 秩父鉄道について。

答 三峰口から羽生までの秩父鉄道沿線の市町が集まり、秩父鉄道整備促進協議会を組織し、国、県に要望するとともに鉄道の安全対策支援を実施している。

問 秩父駅前、相生町の国道299号線の整備について、進捗状況はどうか。

答 区間は宮側町キンカ堂前から相生町わかされ交差点先までの総延長820m、両側に2.5mの歩道を整備した幅員12mである。事業期間は、当初予定が平成23年度までとなっている。

内容は、交通安全施設整備（歩道）事業として埼玉県が実施する事業であるが、この路線は、市の都市計画道路と重複しているので、



相生町の交差点

県からの委託により市で用地交渉を行い、用地買収費及び物件移転補償費等の支払業務を行っている。進捗状況は、用地取得率は用地総面積約4,520㎡に対し、取得面積は3,132.11㎡となり、全体の約70%の取得率となっている。

いっぱんしつもん

秩父病院、影森へ新築移転計画に
関して

自由民政クラブ 高野 安之

問 全国各地に2次救急医療の休止・移転問題がある。民間病院は12年間に1,100も減る。秩父地域では6病院から小鹿野中央病院も休止、市立病院・秩父病院・皆野生協病院の3病院となる。そのことで市長は、秩父市立病院が1週間のうちで3日から4日間が救急当番となると報告がある。その結果、市立病院の負担は相当増え、医師・看護師の疲労は極限に達し、もし市立病院が救急輪番に参加できなくなると秩父では救急医療が崩壊してしまう。そのため1市4町もこの危機的な救急医療を何とかしなければと、定住自立圏協定のもと財政支援と職場環境の改善を積極的に行い云々。

秩父病院花輪院長は、病院建設に当たり、「特に救急医療などで秩父地域医療に貢献しようと考えています。」と病院だよりにある。秩父病院建設は、ちちぶ定住自立圏協定の中の移転計画と聞く。どの様な病院が出来るか。

答 敷地は5千坪・木造平屋の病棟・一部2階建ての外來、検査、手術、検査棟・待合、高次病院への搬送ヘリポート・駐車場の拡充。



影森和泉町

問 市道影森140号線の開院前の開通は、救急医療体制を充実させ、市民の安心・安全を確立しようとしている秩父病院側に対して、「頑張れ！秩父病院」と、心強い大きな応援旗を立てる事になるのではないか。

答 正にその通り。だが財政も厳しい、大型店舗等関連を総合勘案し検討へ。

市政運営方針について

無会派 上林 富夫

問 22年度からの特別職人事について、どう考えているのか。

答 前市長より選任された副市長並びに教育委員の中から選任された教育長については、私が市長になっても市行政及び教育行政の推進のために尽力いただいている。後任の選任については、しかるべき時期にしかるべき方法により人事案件として議会へ提案させていただきます。と考えています。

●議会改革について

問 秩父地域の会社では多少上向き傾向の会社もあるが、現在でも週休3日、4日の会社も多くあることや建設業や一般の商店なども不景気の極みにあり、疲弊する市民は日を追って増加傾向にあることは周知の事実である。市議会も定数削減を実施したが、まだまだ不十分との声も多く、議員給料日当制や政務調査費廃止など、また一般質問中のテレビ中継や市役所1階などでも観覧できるように市長から提案していただきたいと思うが、どのような意見をお持ちか。

答 議員報酬や政務調査費などの議会に関することについては、市

長部局が議会に対しご意見を申し上げる立場ではない。テレビ中継などについても、議会運営の申し合わせ事項等により議会自ら決めることが慣例となっている。

しかし、議案に対する質疑通告制や一般質問ヒアリング制度の実施については、議会にお願いしてきた経緯がある。このようなことから、議員各位でご検討いただき議員総意で決めていただければと思う。



議場の様子

いっぱんしゅもん

子ども手当について

市民クラブ 笠原 重男

問 新年度から始まる子ども手当支給にあたり、給食費滞納世帯の解決策として各学校間で協議等する機会はないのか、また、何か考えられないか。

答 給食費滞納世帯対策は、基本的に各学校ごとに対応をとっているが、可能な範囲で実例報告の場を設けるなどの取り組みを検討していきたいと考えている。直近の資料により、滞納世帯209世帯、合計金額443万余円。

●秩父地域の平成の市町村合併を市長に問う

問 マニフェスト（政権公約）の考え方について、「吉田地域商工研究会」が補助金要望した際、市長からマニフェストとして商工団体の共存共栄を説明されたが、市長のマニフェストは一部商工団体関係者に出されたもので、書面もないが市長の見解は。

答 商工会議所、商工会など商工団体の共存共栄を図っていくことは、私の政治的基本方針であり、マニフェストの解釈として、辞書によれば「宣言、声明書の意味で、個人または団体が方針や意図を多

数者に向かつてはつきりと知らせること、またはそのための演説や文書である」とされている。

問 吉田地域の商工業者への支援策について。

答 新年度より、吉田地域商工研究会予算を、研究会99万1千円、商工会吉田支部予算（新規）を154万7千円として新年度より新たに補助する。（商工会は他に本会より12万5千円補助されている。）



吉田地域商工研究会

◎政教分離について
◎集落支援について

議会用語解説

●一般質問とは

一般質問は、議案に関係なく、行財政や市政全般について、市長をはじめとした執行機関に対して見解などを問うもので、定例会でのみ行われます。議会では、議案の審議と同じように、一般質問も重要な役割をもっており、市民の考えを市政に反映させるなど、市当局と自由に討議ができる場でもあります。

また、演壇での質問の際、議事をスムーズに進行させるため会議規則により、前もって質問の要旨を文書で提出することになっているほか、円滑な議事運営および適切な答弁を得るためにヒアリング制を導入しています。

●意見書とは

議会には、その自治体に関係あることや広く市民生活にかかわることについて、国、県または関係行政機関に対し、意見書の提出権が認められております。これは、地方自治法に基づくもので、住民の代表である議会に意見書を提出する機会を与え行政に住民の意見を反映させようとするものです。

また、意見書の内容は、特に制限はなく、議会で決定して国や県に提出することができます。

編集後記

この議会だよりが皆さまに届く時は、新しい市議会体制になり、新緑も濃くなっていると思います。「議会だより」は合併した時に経費の削減を理由に「市報ちちぶ」に合冊されました。

議会だより編集委員会としては、一、議会と執行部は行政に向けた姿勢が異なる。二、合冊では市報と議会だよりの区別がしづらい。このような理由で分冊をめざして、タブロイド判の検討も行いながら要求してきました。

また、議案の説明文や一般質問の個人枠・写真の取り入れ・ページの段数の変更など、市民の皆さまに見やすい議会だよりに向けた取り組みを行い、今回から市報と分冊となり喜ばしいことです。

今後とも、議会内容を皆さまに知らせる「議会だより」のご支援をお願いいたします。

平成22年3月 坂本文雄 記

編集委員

委員長	斎藤 捷栄
副委員長	坂本 文雄
委員	新井 重一郎
委員	福田 恵子
委員	新井 豪
委員	荒船 功

特 報 市議会議員選挙の結果



26人の議員が決まる

去る4月18日に秩父市議会議員選挙が行われ、26人の議員が決まりました。今後4年間、市民の代表として秩父市発展のため活躍される議員の皆さんをご紹介します。

当選者のプロフィール

掲載順は右から受付順です。なお、敬称略、政党名、当選回数（合併前を含む）、職業（秩父市の選挙管理委員会に届け出た内容）、年齢は平成22年5月1日現在です。

公明党・2回
市議会議員・55歳



ふくい たかよ
福井 貴代

無所属・1回
無職・62歳



とみた としかず
富田 俊和

日本共産党・3回
政党役員・54歳



あらい こういち
新井 康一

無所属・3回
会社役員・54歳



かさらは こうへい
笠原 宏平

無所属・6回
無職・68歳



みやた かつお
宮田 勝雄

日本共産党・5回
自営業・61歳



やまなか すすむ
山中 進

無所属・1回
縫製業・51歳



きむら たかひこ
木村 隆彦

無所属・4回
会社役員・63歳



へんみ ひであき
逸見 英昭

無所属・1回
経営コンサルタント・62歳



こいけ おさむ
小池 治

無所属・2回
代議士秘書・34歳



あらい こう
新井 豪

日本共産党・2回
政党役員・68歳



さいとう かつしげ
斎藤 捷栄

公明党・1回
無職・50歳



おおくぼ すすむ
大久保 進

無所属・1回
自営業・56歳



たかの ひろし
高野 宏

無所属・4回
農業・57歳



えだ はるお
江田 治雄

無所属・4回
会社役員・53歳



おびつ いちろう
小櫃 市郎

無所属・3回
無職・66歳



かねた やすなり
金田 安生

無所属・3回
会社役員・60歳



かみばやし とみ お
上林 富夫

無所属・3回
農林業・54歳



おちあい よしじゅ
落合 芳樹

無所属・5回
会社役員・55歳



あさうみ ただし
浅海 忠

無所属・2回
会社役員・69歳



あらい じゅういちろう
新井重一郎

日本共産党・4回
団体役員・48歳



いでうら あき え
出浦 章恵

無所属・1回
会社役員・56歳



たけうち かつとし
竹内 勝利

無所属・1回
保険代理店・59歳



ごの かみしげ じ
五野上茂次

新社会党・3回
団体役員・58歳



かなさき まさゆき
金崎 昌之

無所属・1回
不動産業・67歳



まつざわ かず お
松澤 一雄

無所属・6回
農業・71歳



あらふね いさお
荒船 功

